

FRB、量的緩和縮小を年内に開始か

ポイント① 年内に量的緩和の縮小を示唆

8月27日に開催されたジャクソンホール会議（米カンザスシティ連銀主催の国際金融経済シンポジウム）でパウエルFRB（米連邦準備制度理事会）議長は、経済が予想通りの進展であれば、量的緩和の縮小を年内に開始する意向を表明しました。FRBは足元の雇用者数の増加と2%を大きく超えるインフレ率の上昇をもって、量的緩和の縮小の前提条件としている米景気回復の「さらなる著しい進展」という条件を満たしたと考えているようです。

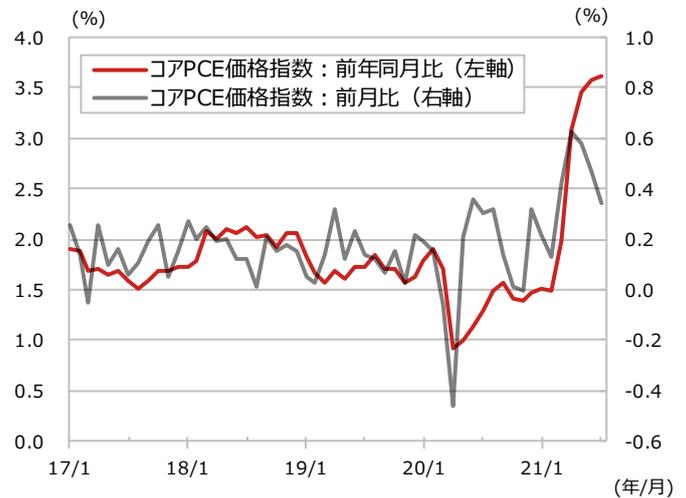
ポイント② 縮小の開始時期は明示せず

一方で、今後の量的緩和の縮小開始時期と資産購入を減額する速度は明らかにしませんでした。また、政策金利の利上げ開始は急がない旨も示しました。FRBはインフレ率の上昇は経済活動の再開に伴う個人消費の増加や、賃金上昇に起因した一時的なものと見ており、今後のデータを注意深く観察する意向を示しています。但し、新型コロナウイルスの感染状況は世界中でデルタ株が猛威を振るっており、東南アジアなどで生産活動への影響も出ていることから、慎重に見守る必要がありそうです。

ポイント③ 講演後、米国株は反発

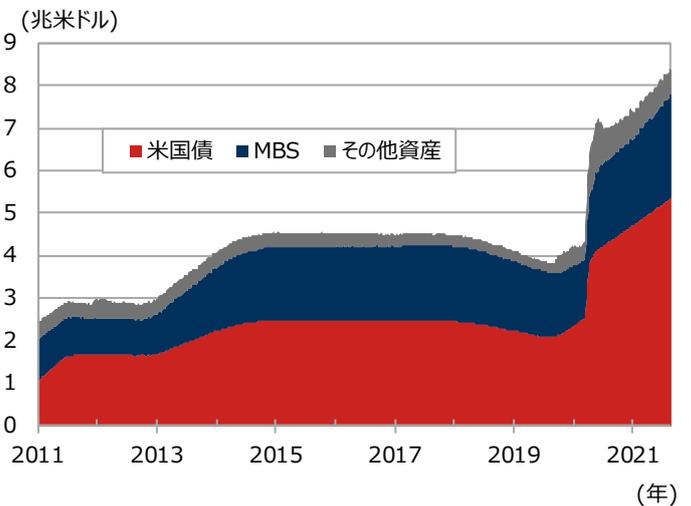
パウエルFRB議長の講演を受けて米国株の主要3指数は上昇、S&P500株価指数とナスダック総合指数は最高値を更新しました。また、米10年債利回りはジャクソンホール会議前にFRB高官によるタカ派スタンスの発言等により1.35%まで上昇していましたが、講演後に小幅に低下しました。量的緩和の縮小に関するパウエル議長の講演が想定通りだったことに加え、利上げについても慎重な姿勢を見せたことが市場に安心感を与えたと考えられます。

米コアPCE価格指数の推移



期間：2017年1月～2021年7月、月次
PCE：個人消費支出
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

FRBの資産残高の推移



期間：2011年1月5日～2021年8月25日、週次
MBS：不動産担保証券（モーゲージ証券）
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

重要 イベント

- 9月1日 米ISM（サプライマネジメント協会）製造業景況感指数（8月）
- 9月3日 米雇用統計（8月）